

令和5年度 柊野小学校経営方針

京都市立柊野小学校

校長 小林 宏樹

〈教育理念〉

「子どもを中心に据え、学校・保護者・地域が一体となり、すべての子どもが安心して学ぶことができる」

1. 学校教育目標

○ともに学び ともに育つ

大切にしたい3つのキーワード「あいさつ、おもいやり、えがお」

2. 本年度の経営の重点

○道徳教育を基盤にした学校づくり

○子どもが生活しやすい教育環境づくり（ユニバーサルデザイン）

3. めざす学校像

○子どもが通いたい、保護者が通わせたい、子どもの居場所があり、よさが発揮できる

教職員一人一人のよさを生かせる

4. めざす子ども像

○人の話を聴き、自分の思いや考えを伝える子 ○人、もの、時間を大切にする子

○最後まであきらめずにやりとげる子

5. めざす教職員像

○自ら学び続ける、豊かな人間性がある、協調性がある、信頼される、率先垂範・凡事徹底

6. 育成したい資質・能力

○人間関係形成力

7. 重点指導方針

「確かな学力」の育成

- ・学びの集団づくり
- ・基礎基本に関わる知識技能の習得
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・子どもの特性に応じたきめ細かな支援

「豊かな心」の育成

- ・「考え、議論する」道徳科授業の推進
- ・異年齢集団活動
- ・規範意識の高揚
- ・多様性を理解する教育の推進
- ・支え合い高め合う集団づくり

「健やかな体」の育成

- ・運動能力及び体力の向上
- ・心身の健康の保持増進
- ・自己管理能力の向上
- ・危機管理意識の高揚
- ・食に関する教育の推進

8. 本年度の重点取組

○学力向上の取組

- ・「わかる」「できる」授業の実践
- ・支持的風土に支えられた学級・学年集団づくり
- ・「全国学力・学習状況調査」「ジョイントプログラム」の結果分析を踏まえた授業改善
- ・「共感的な人間関係の育成」を位置づけた授業の実践
- ・ICTを活用した授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・家庭学習の定着を図り、自学自習の習慣化
- ・学校図書館の活用と読書活動の充実
- ・生き方探究教育の充実を図り、自己肯定感を高める

○英語教育の充実

- ・デジタル教科書の有効活用
- ・Can-Do リストの活用
- ・評価のあり方の研究

○生徒指導の充実

- ・「共感的な人間関係の育成」の視点を重視し、自己指導能力の育成
- ・いじめや不登校の未然防止、問題行動の早期発見、対応
- ・あいさつ、学習規律の徹底
- ・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

○道徳教育の充実

- ・道徳科の授業の工夫、改善
- ・道徳科を軸としたカリキュラム・マネジメントの推進
- ・豊かな人間性を育み、共に学び合い、支え合い、心を耕す

○生活しやすい教育環境づくり

- ・児童の心身の安定を図る人的・物的環境づくり
- ・教職員の心身の健康保持の実現と教育の質の向上
- ・ユニバーサルデザインにつながる環境整備

○人権教育の取組の推進

- ・児童の命を守る
- ・一人一人の人権が尊重され、居場所のある、つながりのある集団づくり
- ・たてわり活動の充実
- ・多様性を理解する姿勢

○総合育成支援教育の充実

- ・授業、学校全体のユニバーサルデザイン化
- ・児童の特性を全教職員が理解する
- ・支援教育の理解と認識を図る
- ・家庭、地域、関係機関との連携

○健康安全教育の充実

- ・健康的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実
- ・体力、運動能力の向上
- ・安全確保に関わる環境整備と安全教育の充実

9. 開かれた学校づくり

○地域に根ざした教育活動を展開し、地域に信頼され、地域とともに歩む学校

- ・地域の人材活用や人材発掘
- ・児童の体験活動の充実